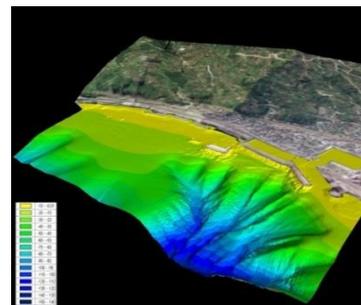


## 活動の場所

深海底から山岳地帯



3次元海底地形データ

## 活動目的

空間情報事業を通じて自然環境の保護や生物多様性保全に貢献する。

## 活動内容

パスコは、人工衛星や航空機などを使って離れた位置から地球上のあらゆる事象を計測する「遠隔の視点」、社会課題の現場に身を置き、見て・聞いて・触ることで社会の現状を捉える「近接の視点」、さらにAIやIoT・GIS・画像処理などの技術を使って取得した情報を「分析・解析」する技術、この“3つの優位性”を融合して、社会課題の解決に資するソリューションを創出しております。自然保護や生物多様性保全の観点では、持続可能な森林経営のサポート、災害時の状況把握、生物調査・景観調査等の各種環境アセスメント支援を行っています。

## ●持続的な森林経営・森林管理の支援

航空レーザー測量により高精度な3次元地形データを収集し、これを活用した森林資源調査を行っています。本調査では広域な森林の資源量および整備の状況と生産活動に影響する地形条件を、短期間で把握することが可能です。



## ●災害時の状況把握と情報提供

空間情報の技術を駆使し、自然災害のリスク評価、防災計画・ハザードマップの作成などの事前対策から、復旧・復興支援まで、さまざまな形で国土強靱化を支援しています。また、大規模自然災害発生時には、人工衛星や航空機などを活用し、迅速に被災状況の把握や解析を行い、災害対策を実施する地方自治体や各省庁など関係機関に情報を提供しています。



## ●環境モニタリング・環境アセスメント支援

従来の環境調査だけでなく、衛星リモートセンシングや航空機撮影、GIS、AI技術等による環境解析技術や情報整理手法等を組み合わせることで効率的に現況環境を把握いたします。陸域だけでなく3次元海底地形計測や藻場分布調査等、海域も含めた幅広い分野の業務支援を行っています。



## PRしたいポイント

衛星リモートセンシングや航空レーザー測量など高度な空間情報技術を駆使し、事業活動を通じて自然環境の保護や生物多様性保全に貢献しています。

## 活動効果、今後の展開 等

○空間情報事業を通じて、森林の持つ多様な機能を発揮させるための支援や環境の保全の観点からよりよい事業計画の作成支援等を行っています。

○今後も事業活動を通じて自然環境の保護や生物多様性保全に貢献してまいります。